



本紙に掲載されている本会オンライン事業の画像は、本会理事長が撮影を許可した広報委員会によるものです。本会オンライン事業に関するコンテンツの複製、その利用等は、目的の如何および個人利用を問わず、本会理事長が許可した場合を除き一切禁止しております。



News Letter

No.60

一般社団法人日本老年歯科医学会 会報

2025年6月30日発行

【本号のトピックス】

第36回学術大会報告／大韓老年歯科学会交流報告／各賞受賞者紹介
支部長会報告／歯科衛生士交流会報告／高齢者医療臨床研修会報告 等

第36回学術大会が盛会裡に終了しました！

大会長 片倉 朗
(東京歯科大学口腔病態外科学講座教授)

第36回学術大会(6月27～29日)を無事盛会のうちに終了することができました。

本大会はテーマを「口腔機能の維持・向上で老年学に貢献する一輝く100年を口とともに生きる」とし、老年7学会を構成する多職種、国民とともに口腔機能の管理の重要性をどのようにして共有するかをテーマにしたプログラムを構成しました。

約2,300名もの皆様にご参加いただき、25セッションの企画演題では各分野の先生方より素晴らしいご講演をいただきました。また、課題口演10演題、一般口演36演題、表彰・審査対象を含むポスター発表は184題に上り、非常に活気ある学術大会となりました。

連日30℃を超える暑い日でしたが、会場の熱気は他の老年学会の構成学会の皆様にも老年歯科の力強さを印象づけるものになったと思います。

情報交換会には定員の約200名の方にご参加いただき、親交を温めていただけたものと思います。

7月14日～8月4日のオンデマンド配信でも素晴らしい演題をお楽しみいただけたものと考えております。

最後に、ご協賛いただいた企業や団体の皆様、学会事務局と運営事務局の皆様のご支援とご尽力に厚く御礼申し上げます。



左から、上田準備委員長、
平野理事長、片倉大会長



片倉大会長



来年度大会長の
池邊先生



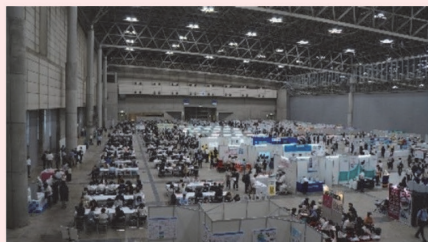
渡邊郁馬先生には総会時に
映像でご登場いただきました



名誉会員、理事、
監事、幹事の
先生方



満員のシンポジウム 1 の様子
(第 1 会場)



広々とした受付・ポスター会場



シンポジウム 8 の座長・
演者の先生 (第 1 会場)



Hsiao-Ling Huang先生(台湾)と
座長の松尾先生(海外特別講演)



第 34 回日本老年学会総会
優秀ポスター表彰式



盛況のベーシックセミナー 3 の様子
(第3会場)



特大パネルが来場者をお出迎え



名誉会員称号記授与式にて(左から
水口先生, 平野理事長, 羽村先生)



もも&キキ ft. チーバくん



第 36 回学術大会スタッフの東京歯科大学の先生方

大韓老年歯科学会交流報告

理事長 平野浩彦

・2025 Spring Conference of the Korean Academy of Geriatric Dentistry にお招きいただきました

2025 年 4 月 6 日にソウルで開催された大韓老年歯科学会学術大会にお招きいただき、「Current status of Japan's dental care for oral frailty」という演題で約 1 時間、講演の機会をいただきました。その他の講演では、口腔乾燥、嚥下障害、高齢者への補綴治療、インプラントなどが取り上げられていました。学会には約 500 名が参加し、活気にあふれた雰囲気でした。今後、アジア圏における重要なカウンターパートとして、同学会との交流をさらに深めていきたいと感じた貴重な時間でした。



大韓老年歯科学会学術大会での記念撮影（4 月 6 日）

・MOU（基本合意書）の締結

第 36 回学術大会時に、「The Signing Ceremony of Memorandum of Understanding between Korean Academy of Geriatric Dentistry and Japanese Society of Gerodontology」と題して、調印式を行いました。



調印式にて両学会の関係者らと（6 月 28 日）

2025年度各賞受賞者紹介

【功労賞】

市川哲雄（徳島大・名誉教授）
皆木省吾（岡山大・名誉教授）

【老年歯科医学賞 / 渡邊郁馬賞】

老人保健健康増進等事業報告書
平成 29 年度～令和 3 年度
特任委員会厚労省老健事業委員会
代表者：吉田光由（藤田医大・歯科・口腔外科）

【優秀奨励論文賞（ライオンアワード）】

坂井 鮎（藤田医大病院・歯科・口腔外科）
堀 綾夏（東歯大・老年歯科補綴）

【老年歯科医学 優秀論文賞】

小田島あゆ子（新大・院医歯・口腔保健）

【優秀課題口演賞】

平山茉奈（昭和医大・院歯・口腔機能管理）
早瀬正生（北大・院歯・高齢者歯科）

【優秀ポスター賞】

真山達也（科学大・摂食嚥下リハ）
大曾根歩愛（（医）恵真会 Ihana 歯科岐阜）
長谷剛志（公立能登総合病院・歯科口腔外科）



受賞された先生方
おめでとう
ございます！

2025年度支部長会報告

支部運営委員会委員長 糸田昌隆

2025年6月29日(日)午前9時より、幕張メッセ国際会議場で日本老年歯科医学会第36回学術大会の開催に併せて、2025年度日本老年歯科医学会第1回支部長会が開催されました。昨年度まではグループワークを中心に支部活動の在り方などについて協議されてきましたが、今年度の支部長会では、より活発な支部活動に向けた各支部および支部長からの意見聴取を目的に、議事次第に合わせ活発な意見交換が行われました。まず、支部規程および支部長会規則の確認を行った後に、支部運営を負担なくスムーズに行うための各都道府県支部のブロック編成について意見交換が行われました。出席されたほぼ全員の支部長の意見が発議され、発議された内容への検討も行われました。また次年度、次々年度学術大会での各支部長からの企画プログラムについても話し合われました。約50分間の支部長会では討議しつくされない議事があり、2025年度第2回支部長会のWeb開催の承認を得て閉会しました。今回の支部長会では、各支部活動の問題点などが改めて確認され、支部活動および支部長会をサポートする支部運営委員会の活動目標が設定されました。



活発な意見交換が行われました



左から枝広副委員長、糸田委員長

歯科衛生士交流会(DHカフェ)開催報告

歯科衛生士関連委員会副委員長 藤原千尋

2025年6月29日(日)、日本老年歯科医学会第36回学術大会内において、歯科衛生士関連委員会主催のDHカフェを開催しました。時間内であれば出入り自由、千葉県銘菓を準備しカフェ形式の交流会としました。参加者は40～50代を中心に54名と大盛況でした。同じテーブルに集まって名刺交換を行い、異なる環境で仕事をしている方々で情報交換を楽しんでいました。参加者からは「久しぶりに会う方とたくさん話げできた」「初めての方とも交流がもてた」などの感想が聞かれました。会場内の相談コーナーでは、認定歯科衛生士の取得に向けての相談や研究支援に関する案内などを行っており、多くの方が利用していました。今後もさまざまな企画を用意しますので奮ってご参加ください。



たくさんの方々にご参加いただきました



終始和やかな雰囲気で開催されました



第17回高齢者医療 臨床研修会報告

研修委員会委員長 小野高裕

2025年3月28日（金）に標記研修会を開催いたしました。今回のテーマは「回復期リハビリテーションにおける医科歯科連携」で、講師は千里リハビリテーション病院顧問の熊倉勇美先生（言語聴覚士）をお願いいたしました。

50年以上にわたる臨床歴をおもちの熊倉先生は、我が国の摂食嚥下リハビリテーション分野の草分けのお一人でもあり、早くからリハ現場での医科歯科連携に着眼され、特に補綴装置を用いた発話障害・摂食嚥下障害の回復に取り組んでこられました。当日は223名と多くの方にご参加いただきました。研修会

では、舌接触補助床や軟口蓋挙上装置を用いた症例を示され、医科歯科連携によるメリットだけでなく、今後推進するためのさまざまな課題を提示されたことがたいへん有意義でした。



熊倉先生（左）と座長を務めた筆者

第5回千葉支部主催セミナー 「地域包括ケアシステムと老年歯科」開催報告

千葉支部支部長 石井広志

2025年4月20日（日）、千葉県歯科医師会、同歯科衛生士会の後援を受けて千葉支部主催セミナーが開催されました。本セミナーはコロナ禍を経て約5年ぶりの開催となりました。当日は、東京都健康長寿医療センター歯科口腔外科部長・研究所研究部長の平野浩彦先生による「高齢期口腔機能管理の視点：オーラルフレイル・口腔機能低下症」、浦安駅前地域包括支援センター主任ケアマネジャーの富永文彦先生による「地域包括ケアシステムにおける異業種交流」の2講演が行われました。歯科医師、歯科衛生士のほか看護師やケアマネジャーを含む57名にご参加をいただき、講演後には活発な質疑応答が行われました。



左から富永講師、石井支部長、平野講師

2025年度神奈川支部主催セミナー開催報告

神奈川支部支部長 玉置勝司

2025年6月22日（日）、神奈川県歯科医師会館において、「歯科外来で行われる食事指導・栄養指導が国民の健康に寄与する～これからの歯科医療の在り方を変える～」をテーマに、神奈川支部主催のセミナーが開催されました。44名の参加者で、講師は山下 宗先生（医療法人詩慶会やました歯科医院理事長）、小松知子先生（神奈川歯科大学全身管理歯科学教授）、遠又靖丈先生（神奈川県立保健福祉大学准教授）で、座長は玉置勝司（神奈川歯科大学）、追加発言は守屋義雄先生（神奈

川県歯科医師会会長）、田中和美先生（神奈川県立保健福祉大学教授）で盛会に進められました。



講師の先生含む関係者の集合写真

第37回学術大会のご案内「たべるよろこび つづくしあわせ」

2026年6月、大阪にて日本老年歯科医学会第37回学術大会を開催いたします。テーマは「たべるよろこび つづくしあわせ」といたしました。いくつになっても「自分の口でおいしく食べる」ことの大切さを改めて見つめ直し、老年歯科医療の未来を考える機会としたいと思います。ECG(ヨーロッパ老年歯科医学会)との国際合同セッションも予定しており、活発な学術交流に加え、大阪ならではの食文化や人とのふれあいもお楽しみいただければ幸いです。ご参加を心よりお待ちしております。

テーマ:「たべるよろこび つづくしあわせ」
会期:2026年6月12日(金)~14日(日)

会場:大阪府立国際会議場(グランキューブ大阪)
〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-5 1
大会長:池邊一典(大阪大学大学院歯学研究科
有床義歯補綴学・高齢者歯科学講座)



長寿科学振興財団 若手研究者表彰報告

本会会員の豆野智昭先生(大阪大学)が、長寿科学振興財団より「長寿科学賞」を受賞しました。本賞は、我が国の長寿科学研究に携わった若手研究者の研究活動を幅広く支援することにより若手研究者の育成と長寿科学の振興を図ることを目的として、優れた研究成果をあげた研究者を選考のうえ、表彰を行っているものになります。第34回日本老年学会総会で表彰式が行われました。豆野先生、おめでとうございます!



豆野先生(中央)

歯科衛生士研究支援制度について

<支援制度の利用について>

1. 日本老年歯科医学会 歯科衛生士会員を対象とする制度です。ただし、大学院に在籍する歯科衛生士は対象から除きます。
2. 研究支援制度の利用を検討される際は、HP上に歯科衛生士関連委員会が作成した動画教材が公開されていますので視聴ください。

※視聴は会員限定(事前のメール配信「日本老年歯

科医学会 学会情報 2025-06」にてお知らせしたID/PASSが必要です)

歯科衛生士以外の会員も視聴可能ですが、歯科衛生士向けに作成していることをご承知おきください。詳細は右記をご覧ください。

<https://www.gerodontology.jp/info/002395.shtml>



編集後記

老年7学会合同という大規模な形式で第36回学術大会が開催され、盛況のうちに幕を閉じました。猛暑のなかにもかかわらず多くの方が来場し、さらに缶バッジやご当地着ぐるみの登場も話題となり、日本老年歯科医学会の一体感や温かさを感じる場面が多くみられました。他学会の参加者からも好評をいただき、今後の展開にも期待が高まります。次回、大阪での開催も楽しみにしております。(大久保真衣)



発行人 平野浩彦
編集 (一社)日本老年歯科医学会広報委員会
事務局 〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9
駒込TSビル (一財)口腔保健協会内
電話 03-3947-8891 FAX 03-3947-8341
E-mail jsg@kokuhoken.or.jp